

令和五年度入学試験問題

国 語 一〇一

(前期日程)

(注意事項)

- 1 問題冊子および解答用紙は、係員の指示があるまで開かないこと。
- 2 問題冊子は1冊、解答用紙は4枚と下書き用紙1枚である。
- 3 解答は、解答用紙の指定された解答箇所を書くこと。指定された解答箇所以外に書いたものは採点しない。また、裏面に解答したものも採点しない。
- 4 解答開始後、4枚すべての解答用紙の「受験番号」欄に受験番号をはっきりと記入すること。
- 5 配付した問題冊子および用紙はすべて回収する。

第3問、第4問は選択問題である。いずれか一方を選択して解答せよ。
選択した問題の解答用紙の所定欄に○印を記入せよ。

なお、両方に○印を記入した場合、あるいはいずれにも○印を記入していない場合は、ともに採点対象外とする。

国語
問題

第1問

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。なお、設問の都合上、本文の一部を改変したところがある。

著作権処理中

著作権処理中

〔鷲田清一〕『ひとの現象学』による

- 〔注〕
- 1 E・バリバール——フランスの思想家、哲学者。一九四二年歿。
 - 2 アイデンティティ——自分は自分であると自覚を持つこと。

問1 傍線部(A)「著作権処理中」に関して、以下の問いに答えよ。

- (1) 科学技術が高度に専門化した現代において、専門家の現状はどのようなものになっていると筆者は考えているか、説明せよ。
- (2) 科学技術が高度に専門化した現代において、専門家と一般市民が共通して抱える問題点を、本文中の語句を使って四十五字程度で記せ。

問2 傍線部(B)に関連し「著作権処理中」をこれまでとは異なる原理やネットワークによって修復していくうえで、困難をもたらすいくつかの要因を本文の内容に即してすべて説明せよ。

問3 傍線部(C)「著作権処理中」

とを試みていると筆者は考えているか、説明せよ。

とあるが、

「著作権処理中」

のために、人びとはどのようなこ

第2問

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。なお、設問の都合上、本文の一部を改変したところがある。

著作権処理中

著作權處理中

著作権処理中

(加藤秀俊『メディアの周辺』による)

〔注〕

- 1 点前——茶道でお茶をたてる作法。
- 2 棗——ナツメの実の形状に由来する抹茶の容器。
- 3 スチール写真——静止画像として撮影された写真。
- 4 茶杓——茶をたてるのに用いる茶道具の一つ。

問 1 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直せ。

問 2

傍線部(A) 著作権処理中

「」るとはどのような状態を表しているか、四十字程度で説明せよ。

「とあるが、

著作権処理中

問 3

傍線部(B) 著作権処理中

「とあるが、とあるが、という点に筆者

は感動したのか、説明せよ。

問 4

傍線部(C) 著作権処理中

「」に関して、以下の問いに答えよ。

- (1) 日常生活における「著作権処理中」とはどのようなものか、説明せよ。
- (2) 茶会における「著作権処理中」の特色を、西洋のパーティと比較しながら説明せよ。

第3問、第4問についてはいずれか一方を選択して解答せよ。

第3問 (選択)

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。この文章はある物語の一節で、主人公の男(三位の中將)が「垣間見」するところを中心に描いている。

著作権処理中

(『石清水物語』により、一部省略・改変したところがある)

(注)

- 1 立部——室内が見えないように庭先に立ててある建具。
- 2 持仏堂——居住用の建物とは別に、仏像を安置するために邸の敷地内に設けられた小さなお堂。
- 3 後家御前——ここでは、「故常陸守」の妻を指す。
- 4 薄様——手紙に使う紙。
- 5 方々に——「皆さんよろしく」というべらいの、別れのあいさつの言葉。

問1 傍線部①～④をわかりやすく現代語訳せよ。

問2 二重線部「著作権処理中」の直前と直後には三位の中将の心内語（心の中で思った言葉）が書かれている。「著作権処理中」の直前の心内語を【甲】、直後の心内語を【乙】とする。【甲】と【乙】に関して、以下の問いに答えよ。

(1) 【甲】より前に書かれてある三位中将の行動や心内語または発言の中から、【甲】の内容と整合性のある部分を抜き出して記せ。

(2) 【乙】の内容を、わかりやすく説明せよ。また、【乙】の内容に関連して、【乙】の直後から事態はどのように推移するか、説明せよ。

問3 「著作権処理中」にどのような情報を伝えたか、説明せよ。

問4 波線部「著作権処理中」の部分単語に分けたとき、一つ目の単語を文法的に説明せよ。

第3問、第4問についてはいずれか一方を選択して解答せよ。

第4問 (選択)

次の二首の詩と散文を読んで後の設問に答えよ。二首の詩は、唐代の詩人・杜甫(字は子美)が地方での生活を詠った五言律詩の連作であり、その後の散文はこの二首の詩に関して北宋時代の文人・蘇軾(字は子瞻、号は東坡居士)が知人(「或者」と交わした会話である。なお、出題の都合上、本文を省略・改変したところや、返り点と送り仮名を省略したところがある。

屏跡二首 杜甫

用^{〔注1〕}拙^{〔注2〕}存^{〔注3〕}吾^{〔注4〕}道^{〔注5〕}幽^{〔注6〕}居^{〔注7〕}近^{〔注8〕}物^{〔注9〕}情^{〔注10〕}

桑^{〔注11〕}麻^{〔注12〕}深^{〔注13〕}雨^{〔注14〕}露^{〔注15〕}燕^{〔注16〕}雀^{〔注17〕}半^{〔注18〕}生^{〔注19〕}成^{〔注20〕}

村^{〔注21〕}鼓^{〔注22〕}時^{〔注23〕}時^{〔注24〕}急^{〔注25〕}漁^{〔注26〕}舟^{〔注27〕}個^{〔注28〕}個^{〔注29〕}輕^{〔注30〕}

杖^{〔注31〕}藜^{〔注32〕}從^{〔注33〕}白^{〔注34〕}首^{〔注35〕}心^{〔注36〕}跡^{〔注37〕}喜^{〔注38〕}双^{〔注39〕}清^{〔注40〕}

晚^{〔注41〕}起^{〔注42〕}家^{〔注43〕}何^{〔注44〕}事^{〔注45〕}無^{〔注46〕}營^{〔注47〕}地^{〔注48〕}轉^{〔注49〕}幽^{〔注50〕}

(B)〔注11〕

竹^{〔注11〕}光^{〔注12〕}団^{〔注13〕}野^{〔注14〕}色^{〔注15〕}舍^{〔注16〕}影^{〔注17〕}漾^{〔注18〕}江^{〔注19〕}流^{〔注20〕}

廢^{〔注21〕}学^{〔注22〕}從^{〔注23〕}兒^{〔注24〕}懶^{〔注25〕}長^{〔注26〕}貧^{〔注27〕}任^{〔注28〕}婦^{〔注29〕}愁^{〔注30〕}

百^{〔注31〕}年^{〔注32〕}渾^{〔注33〕}得^{〔注34〕}醉^{〔注35〕}一^{〔注36〕}月^{〔注37〕}不^{〔注38〕}梳^{〔注39〕}頭^{〔注40〕}

子瞻云、「此東坡居士之詩也」。或者曰、「此杜子美『屏跡』

詩也、居士安得窃之」。居士曰、「夫禾麻穀麥、起於神農・

后稷^{〔注1〕}。今家有二倉廩^{〔注2〕}、不^{〔注3〕}予^{〔注4〕}而取^{〔注5〕}輒^{〔注6〕}為^{〔注7〕}盜^{〔注8〕}、被^{〔注9〕}盜^{〔注10〕}者為^{〔注11〕}失主^{〔注12〕}。

若^{〔注13〕}必^{〔注14〕}從^{〔注15〕}其^{〔注16〕}初^{〔注17〕}、則^{〔注18〕}神農・后稷之物也。今考^{〔注19〕}其^{〔注20〕}詩^{〔注21〕}、字^{〔注22〕}字^{〔注23〕}皆^{〔注24〕}

居士実録、是則居士詩也、子美安得禁吾有哉」。

(『杜工部集』と『東坡題跋』による)

〔注〕

- 1 屏跡——人付き合いを避け、田舎暮らしをすること。
- 2 拙——世渡り下手であること。
- 3 幽——「幽」は静かであること。第二首第二句の「幽」も同じ。
- 4 物情——外界の事物。
- 5 半生成——生まれたものは成長し、成長したものは新たに子を産むこと。
- 6 村鼓——村に時を知らせる太鼓の音。
- 7 藜——アカザ科の一年草。茎は杖になる。
- 8 白首——白髪の多い頭。
- 9 心跡——心持ちと行い。
- 10 営——何かに従事すること。
- 11 竹光団野色——「団」はものがまるい形を成す様子。「野色」は田野の風景。この句は竹林が日光を浴び、田野の風景の中でまるくまとまって見える風景を描写している。
- 12 漾——水面がゆらゆらと揺れ動くこと。
- 13 懶——怠惰であること。
- 14 禾麻穀麦——ここでは穀物全般を指す。
- 15 神農・后稷——「神農」は伝説上の王で、農業・医薬の神とされる。「后稷」は周王朝の始祖であり、農業技術を広めたという。
- 16 倉廩——穀物が蓄えられた倉庫。

問1 破線部「子美安得禁吾有哉」に返り点を加え、書き下せ。

問2 傍線部(A)はどのようなことを表しているか。次のア～オの中から最も適当なものを一つ選んで記号で答えよ。

- ア 作者は寿命の長短を天任せ、心持ちと行いが両方とも俗世間を超越していることをうれしく思っている。
- イ 作者は地元の老人に生活を委ね、彼の心持ちと行いの両方にやましいところが無いことをうれしく思っている。
- ウ 作者は自身の老いを受け入れ、心持ちと行いが以前の倍ほど清らかであることをうれしく思っている。
- エ 作者は自身の老いを受け入れ、心持ちと行いの両方にやましいところが無いことをうれしく思っている。
- オ 作者は地元の老人に生活を委ね、彼の心持ちと行いが両方とも俗世間を超越していることをうれしく思っている。

問3 傍線部(B)「団野色」と「漾江流」の部分は内容上どのように対応しているか、左に挙げた「竹光」と「舎影」の内容上の対応を説明した「例」にならい、説明せよ。

〔例〕「竹光」は自然物に光があたった明るい風景を表し、「舎影」は人工物が影を作っているうす暗い風景を表す点において、対照的である。

問4 傍線部(C)「若必従其初、則神農・后稷之物也」とはどのようなことを述べているか。「其」が指す内容を明示しつつわかりやすく説明せよ。

問5 波線部「此東坡居士之詩也」とあるが、蘇軾のこの発言を「或者」はどのように受け止めたか。また、その一方で蘇軾の真意はどのようなものだったと考えられるか。それぞれわかりやすく説明せよ。

第3問を選択する者は下の空欄に○印を記入せよ。

第3問 (選択)

問 1			
d	c	b	a

問 2	
(2)	(1)

問 4	問 3		

小	計

受験番号

第4問を選択する者は下の空欄に○印を記入せよ。

第4問 (選択)

問1
書き下し文
返り点
子美安得禁吾有哉

問2

問3

問4

問5

小計

受験番号